



# AI・IoT・ICTと多久の未来

横尾市長

×

菅谷俊二

株式会社オプティム 代表取締役社長

市長..菅谷社長はITを活用した企業家精神と、爆発的な発明力・発想力が素晴らしいですね。さらには、佐賀発祥ということで佐賀に拠点を作り、大学や企業、行政と協力・提携しているところも素敵です。

2019年は平成から新しい元号となる節目の年。これから時代にAI（人工知能）・IoT<sup>※1</sup>・ICT<sup>※2</sup>は、不可欠な技術です。農業、教育、福祉など行政の視点から、からの多久市の未来をAI・IoT先進企業の株式会社オプティムの菅谷社長と、総務省IoT実装推進タスクフォースメンバーでもある横尾市長が語り合いました。

※<sup>1</sup>IoT…アイ・オー・ティー（Internet of Things）あらゆる物にインターネット通信機能を持たせてつながることで、インターネットを経由して自動認識や自動制御、遠隔操作などを行うこと。

※<sup>2</sup>ICT…アイ・シー・ティー（Information and Communication Technology）情報・通信に関する技術の総称

※<sup>3</sup>MDM…モバイル・デバイス・マネージメント（Mobile Device Management）スマートフォン、タブレット端末の管理、セキュリティをサポートし、端末紛失・盗難時の情報漏えい対策、リモートロック、不正利用アプリケーションの起動禁止などを行う企業向けサービス。

菅谷..明けましておめでとうございます。私は楽観的なだけが取り柄ですから。

菅谷..佐賀では横尾市長を含め、たくさんの人にお世話になります。

市長..新年おめでとうございます。菅谷社長との出会いは鳳雛塾でしたね。青年実業家でありIT企業家、誠実なお人柄。ドラマチックな経歴は絵本にして子どもたちに読ませたら、希望が広がると思います。

私は“PC（パーソナルコンピューターの略称）”とはポジティブ（P）でクリエイティブ（C）のPCだと思っています（笑）社名の「オプティム」は楽観志向などの「オプティミズム」ですから、いいお名前ですね。

佐賀発のITトップ企業「オプティム」

## ■株式会社オプティム

2000年6月、創業。「ネットを空気に変える」をコンセプトに、MDM・PC管理サービス<sup>※3</sup>を展開し、日本国内4年連続シェアNo.1を誇る。2015年8月に、佐賀大学・佐賀県とIT農業の三者連携協定を締結し、スマート農業分野に参入。同年10月、東京証券取引所第一部に上場。2018年10月から、多久市と株式会社オプティムとで連携し、プログラミング勉強会を開催。

## ■株式会社オプティム 代表取締役社長 菅谷俊二（すがやしゅんじ）

1976年兵庫県神戸市生まれ。佐賀大学農学部卒。2015年、佐賀大学部農学部招聘（しょうへい）教授に就任。

